

長岡市災害復興文庫展 2015

楽しく学ぶ！

～長岡市資料整理ボランティア 10年のあゆみ～



平成 27 年 10 月 20 日 (火) ～ 11 月 23 日 (月・祝)

9:30～19:00

長岡市立中央図書館 1 階 エントランス

長岡市学校町 1-2-2 電話 0258-32-0658 休館日：10 月 26 日 (月) / 11 月 2・9・16 日 (月)

※期間中 (11 月 10 日) に一部展示替えを行います

【関連行事】

◎展示解説会

10 月 20 日 (火) 11:00～12:00、11 月 21 日 (土) 13:00～13:30

◎祝 10 周年！長岡市資料整理ボランティア活動報告会

11 月 21 日 (土) 14:00～16:00 会場：長岡市立中央図書館 2 階 講堂

定員 180 人 (先着 / 前日までに文書資料室に申し込み)

【主催】〒940-0065 新潟県長岡市坂之上町 3-1-20 (互尊文庫 2 階) 長岡市立中央図書館文書資料室

電話 0258-36-7832 F A X 0258-37-3754 E-mail: monjo@lib.city.nagaoka.niigata.jp

# 長岡市災害復興文庫展 2015 の開催にあたって

平成 26 年 10 月 21 日、長岡市立中央図書館文書資料室は、10 年間の活動の成果として、「被災歴史資料」約 25,000 点、「震災復興関連資料」約 10,000 点の所蔵資料を再編成して、「長岡市災害復興文庫」を開設しました。将来的には歴史公文書も含めた長岡市の災害・復興に関わる文書資料を集積し、市民ボランティアと協働で整理・保存・活用する全国初の試みです。

国立国会図書館も注目し、平成 26 年 8 月の岩手県盛岡市、平成 27 年 7 月の宮城県仙台市での講習会の講師を文書資料室職員に依頼。平成 17 年 10 月に発足した長岡市資料整理ボランティアとともに、災害と復興を語り継ぐ長岡市の取り組みは東日本大震災の被災地へと発信されました。

本展では、市民と行政が協働で取り組んできた 10 年間の歴史資料保全活動の軌跡を紹介するとともに、過去・現在の郷土の歴史を未来へ伝えていくことの意義を考えます。

災害と復興の文庫は、市民共有の財産である経験・教訓に満ちています。災害のすがたを後世に伝えるため、多様な学問分野の研究のため、そして、被災者や被災者を支援した人びとの体験・記憶を呼び起こすための資料として活用されていくことを期待しています。

## 長岡市災害復興文庫とは

- ・開設日 平成 26 年 10 月 21 日（火）

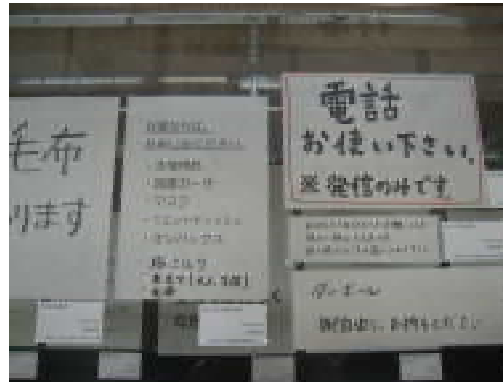
※開設日と同日付で国立国会図書館の東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」(<http://kn.ndl.go.jp/>)とデータ連携しました。平成 27 年 10 月 23 日付で、新たに中越大震災発生直後に撮影された長岡市立阪之上小学校の記録写真の画像データなどを追加します。「災害復興関連資料」の一部（約 7,000 点）の目録・画像のデータを検索・閲覧することができます。

- ・開設場所 文書資料室（長岡市立互尊文庫 2 階）
- ・資料点数・概要 合計約 35,000 点

資料群名	資料概要	点数
被災歴史資料	被災した土蔵・家屋等から救出された古文書等の歴史資料	約 25,000 点
災害復興関連資料	災害避難所・学校・コミュニティセンターなどから収集した災害・復興の記録	約 10,000 点



▲消防隊員から人工呼吸法の訓練を受ける阪之上小学校の教職員  
(平成 16 年 10 月 25 日撮影)



▲長岡市立中央図書館避難所の掲示物  
(中越大震災発生当時使用)